

2026

響音

ゴールデン・クラシック

新緑あふれるゴールデンウィークは、赤坂アークヒルズと府中の森で極上の演奏を楽しもう！日本最高峰のオーケストラが贈る

指揮：梅田俊明

ピアノ：ジョージ・ハリオノ

管弦楽：NHK交響楽団

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30 (5/5公演)

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番 変口短調 op.23 (5/6公演)

チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 op.36 (5/5、5/6公演)

※未就学児童の入場不可。※都合により、出演者・曲目が変更となる場合がございます。※車椅子席をご希望のお客様は、チケット(5/5公演はS席、5/6公演はA席)を購入の上、サンライズプロモーションへ事前にご連絡ください。

2026年5月5日(火・祝)17:30開演(16:45開場) サントリーホール 大ホール

2026年5月6日(水・振休)14:30開演(13:45開場) 府中の森芸術劇場 どりーむホール

全席指定・税込：S席8,800円 A席7,700円 B席6,600円(5/5、5/6公演) P席5,500円(5/5公演) C席5,500円(5/6公演)

《5/5、5/6公演》■MIYAZAWA & Co. (登録無料) <https://www.funity.jp/tickets/miyazawac/showlist>

miyazawa&co. チケット 検索



MIYAZAWA & Co. チケット

チケット

- チケットぴあ (コード:306-210) セブン-イレブン ■イープラス ファミリーマート店舗
- ローソンチケット (Lコード:31993) ローソン、ミニストップ店内Loppi

《5/5公演のみ》■サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日除く)

《5/6公演のみ》■Fivo フィーヴオ fan.pia.jp.fivo (要会員登録) ■チケットふちゆう 042-333-9999 (10:00~17:00 休館日除く)

■お問合せ：サンライズプロモーション 0570-00-3337(平日12:00~15:00) ※チケットの取扱はございません

TOSHIAKI UMEDA

GEORGE HARLIONO



NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

主催：MIYAZAWA & Co. 共催：公益財団法人府中文化振興財団 府中の森芸術劇場(5/6公演のみ) 協力：ヤマハ株式会社

# 創立100周年を迎える 日本最高峰のオーケストラと実力派ソリストの競演！ ゴールデンウィーク恒例、毎年完売の大人気コンサートです

チャイコフスキー国際コンクール第2位のイギリス人ピアニスト「ジョージ・ハリオノ」が  
2つのホールでラフマニノフ第3番とチャイコフスキーの協奏曲を披露します。

指揮者は実力派でN響との共演も多い梅田俊明が、

人気交響曲のチャイコフスキー第4番をどう聴かせるか注目です。

珠玉の名曲と極上の演奏を求め、ゴールデンウィーク後半の2日間、お出かけになりませんか？



©K.Miura

## 梅田俊明(指揮) Toshiaki Umeda (Conductor)

1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。1986年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、1984年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニーの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、東響、日本フィル、東フィル、新日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年4月より仙台フィルハーモニーの常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み2006年3月までその任を務めた。2001年第1回、2004年第2回仙台国際コンクールでは全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。1996年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



©Michael Gan

## ジョージ・ハリオノ(ピアノ) George Harliono (Piano)

2023年開催の第17回チャイコフスキー国際コンクールにおいて、第2位を受賞したイギリス人ピアニスト、ジョージ・ハリオノは、9歳でソロリサイタルデビューを果たし、イギリスをはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地において活躍。ウイグモア・ホール、ベルリン・フィルハーモニー、ロイヤル・アルバート・ホールなど著名なホールで公演を行った。12歳でコンツェルトデビューをし、ワレリー・ゲルギエフやセバステアーン・ヴァイグレといった名高い指揮者とも共演している。仙台国際音楽コンクール、ジューナ・バツカウアー国際ピアノコンクール、ラニー=シュル=マルヌ国際コンクールなど、世界各地の有名なコンクールでも数多く入賞。テニス・マツエフは、“彼はその恵まれた才能により、今後驚異的な経歴を残すだろう”と彼を称えている。満席のサントリーホールにおいて2024年11月に「ピアノ協奏曲日本デビュー」、翌年3月に「リサイタルデビュー」を果たした。2025年4月オクタヴィアレコードよりデビューCDを発売、好評を得ている。



## NHK交響楽団(管弦楽)

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

1926年10月に新交響楽団の名称で結成。1951年には日本放送協会(NHK)の支援を受けることとなり、NHK交響楽団と改称。以来、今日に至るまで世界一流の指揮者・ソリストたちと共演し、歴史的な名演を残してきた。2026年に創立100周年を迎える。2013年のザルツブルク音楽祭に出演するなど世界最高峰の舞台でも活躍し、2024年8月には台湾でツアー、さらに2025年5月には「マーラー・フェスティバル」(アムステルダム・コンサートヘボウ)への招待に合わせ、ヨーロッパでツアーを行った。現在、年間54回の定期公演をはじめ、全国各地で約120回のコンサートを行い、その演奏は、NHKの放送や公式YouTubeチャンネルなどを通じて全世界にも紹介されている。また社会貢献活動として、全国の学校を訪問する「NHKこども音楽クラブ」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサートなど、多彩な活動を行っている。

